

1. 総 括

今年度から、定員を28名に変更し、新型コロナウイルス感染予防対策として、午前と午後の2部制にし、3密を回避した。集団での食事を避けて、昼休みは職員による消毒作業を行った。

下請け作業の目的を、「個別にできることを増やし、やりがいをもって通所するため」と決めた。個々のアセスメントを丁寧に行い、取り組めることが増えるように環境を工夫して整えた。作業時間は減ったが、支給する工賃が減らないように、下請けの作業量とパンの販売などの収益を確保してきた。

「KANUMAISM（カヌマイズム）」の活動を中心に行っている地域連携事業では、神社清掃などを通して、地域貢献を行い、商店街から表彰していただいた。

e-スポーツチームを立ち上げて、全国の大会などに参加した。e-スポーツを通して、社会参加が難しかった方への支援の道筋も見えてきた。ゲーム制作に興味のある方向けに、ゲーム制作講座や、キャラクターデザイン講座も新設した。多様性を認め合い、ともに生きる地域づくりを目指して活動してきた。

2. 年間利用者数

(人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
開所日収	22	22	22	22	22	22	22	22	22	20	15	22	255
1日平均 利用者数 (人)	22.9	22.8	24.2	23.2	21.1	21.6	21.6	19.7	21	17.6	17.4	19.1	21.2
延利用者数	505	503	534	512	465	476	476	434	464	353	261	422	5425

※主な欠席理由…体調不良・精神不安定・家事都合（通院など）

3. 担当職員

サービス管理責任者：宇賀神美菜子

生活支援員：大貫祐子、関口明日香、鈴木順子、伊藤志津

職業指導員：小森敏江、鈴木美鈴

目標工賃達成指導員：藤田薫、金城キヨミ、高波三奈

4. 就労支援事業

(1) 職業（作業）支援

①製菓製パン部門

売上目標額 300万円（実績 404万円）

成 果

- ・新商品開発（小さな食パン）
- ・売り上げ目標達成
- ・月曜日の納品も可能になった。

課 題

- ・焼き菓子の販路拡大

② 委託作業部門

《文星芸大清掃》

週3日（月、水、金） 文星芸術大学内の清掃業務

成 果

- ・利用者さんを働く仲間として大切にすることで、自ら意欲的に動けるようになり、責任感がでてきた。
- ・個別支援実施計画を作成し、一人ひとりをきめ細やかに評価し、具体的な目標を設定したことで、支援員のアセスメント力が上がった。

《下請け作業》

業者：中央パッケージ、シンコール、鎌田スプリング、マーサース、sansan、
トップ、野州麻紙工房、ハッピースパイス、野尻商店、パソコン太郎、
鹿沼市図書館、鹿沼商工会議所、鹿沼市市民部人権推進課、月とスパイス

成 果

- ・利用者さんの作業レベルを把握し、個々にあった指示を出し、モデリングやジグを使用し、できる作業を増やした。
- ・作業スピードが上がった。
- ・地域連携の仕事を創出できた。

課 題

- ・ペン作業の依頼が多く、職員が作業に追われる時があった。

④自主製品部門

《ペットフード》

成 果

- ・新規取引先の開拓ができた。

課 題

- ・定価販売をしないと、B型利用者さんの工賃を支払えるだけの利益が出ない。（現在の顧客は小売店が多い）

- ・販路拡大のための営業をしたいが、兼務では難しい。

(3) 収益事業の収支報告

- ・総売り上げ 9,678,000円（前年比 81%）
- ・工賃総支給額 5,871,000円（前年比 99%）
- ・支給人数 390人（前年比 99%）
- ・月額平均工賃 15,111円（前年比 100%）

＜月別工賃支給額＞

月	工賃支給額	支給人数	平均工賃
4	520,120円	33人	15,761円
5	483,720円	32人	15,116円
6	540,220円	33人	16,370円
7	504,290円	33人	15,282円
8	460,710円	33人	13,961円
9	493,760円	32人	15,430円
10	499,940円	32人	15,623円
11	451,430円	32人	14,107円
12	431,510円	33人	13,076円
1	410,930円	33人	12,452円
2	363,020円	30人	11,979円
3	393,530円	34人	22,674円
合 計	5,893,180円	390人	15,058円

※3月分は年度末手当て含む

就労継続B型事業

1. 職員会議、支援会議

(1) 職員会議

- ・毎月1回開催
運営会議、世話人会議、研修会等の報告
行事、余暇活動等の検討
施設内職員研修の実施

(2) 支援会議

- ・文星支援会議：毎週開催、下請け支援会議：月1回開催
- ・支援計画検討・作成、モニタリング、ケース検討

(3) 総括・事業計画会議

- ・令和3年度事業総括会議
2月5日・19日（土曜日）

- ・令和4年度事業計画作成会議

3月12日土曜日

2. 職員研修

- ・サービス管理責任者受講資格研修（大貫）
- ・サービス管理責任者更新研修（宇賀神）
- ・虐待防止と権利擁護研修（全職員）
- ・知的障害のない神経発達症者の特性理解（全職員）
- ・経営基礎講座（宇賀神）
- ・強度行動障害支援者養成講座・基礎（神戸）
- ・中小企業家同友会例会（神戸・宇賀神み・桐生・大貫）

3. 安全・安心

（1）防災管理

- ・消火、通報、避難誘導の訓練を年2回実施
- ・消防設備の定期点検を年2回実施（委託業者：（株）メディア・システム）

課 題

- ・喫煙所の環境整備

（2）危機管理

- ・事故・ヒヤリハット報告 9件
- ・報告書については、回覧し終礼で共有した。
- ・再発防止についての対策について職員間で話し合い、共有した。

課 題

- ・ヒヤリハット報告が少ない。（ハインリッヒの法則を意識して報告する）
- ・書きやすい様式の検討

（3）苦情解決・虐待防止

- ・今年度の苦情は1件

成 果

- ・虐待に対する申し出はなかった。
- ・虐待に関する全職員研修を実施した。
- ・利用者さんへの満足度調査を実施した。

課 題

- ・職員のメンタルヘルスチェックを実施できなかった。

4. 送迎サービスの実施

- ・市内循環2コース運行
- ・交代で午前と午後の通所になったため、一日3回の送迎になった。

5. 余暇活動

- ・映画鑑賞（4月。8月）
- ・缶バッジづくり（5月）
- ・くじ引き大会（12月）

6. 生活支援

健康管理

- ・コロナウィルス感染対策お便り配布
- ・通所時の検温、手洗い、アルコール消毒
- ・年1回の健康診断
- ・インフルエンザ予防接種の実施（奥山医院：ダック）
- ・栄養指導講座の開催
- ・歯の健康資料配布
- ・昼休憩時と作業終了時、作業場の消毒
- ・1時間に1回の換気

相談援助

- ・精神的不安を抱えている方への相談（予約制）
- ・相談支援員さんと連携し、家族支援を行った。

7. 環境整備

- ・二荒山神社一の鳥居の清掃
- ・駐車場の清掃

8. 地域・関係機関との連携

（1）CCVだよりの発行、HP、フェイスブックの更新管理

- ・ホームページの更新
- ・フェイスブック、ツイッター、インスタグラムの発信
- ・CCVだよりの発行（年2回）
- ・新聞掲載

（2）実習生の受け入れ

- ・基本情報の確認後、支援計画作成後受け入れ実施
- ・外部機関も交えての事前面接

（3）地域連携

- K A N U M A I S Mの活動を通して、地域の事業者さんと繋がり、利用者さんの新しい作業を作り出すことができた。実習先の開拓にもつながった。中小企業家同友会の例会などにも積極的に参加し、地域の事業主と繋がり連携を深めることができた。